

2025年度

ロシア語科・ロシア地域学科

1年生 シラバス

目次

実務経験のある 教員	科目名	担当者名	ページ
☆	実用ロシア語会話	イリイナ・タチヤーナ	1
☆	実用ロシア語文法	デルカーチ・フョードル	2
☆	ロシア語リスニング	スレイメノヴァ・アイーダ	3
	英語	ウィリアムズ・マイケル	4
	ロシア民族学	スレイメノヴァ・アイーダ	5
	ロシア文化史	デルカーチ・フョードル	6
	体育	小林 礼	7
☆	ゼミナール貿易実務	渡辺 善行	8
☆	ゼミナール外国語としてのロシア語	イリイナ・タチヤーナ	9
☆	日ロ関係史	倉田 有佳	10
	論文作成	倉田 有佳	11

科目名	実用ロシア語会話	担当教員	イリイナ・タチヤーナ
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第1学年
開講期	後期（20週）		
時間数	後期80時間（週2コマ）総80時間		
授業概要・学習到達目標			
ロシア語に馴染み、キリル文字の読み方と発音を学び、初歩的な会話ができるレベルを目指します。最終的にはテキストの内容を理解し、それについて会話をします。			
学習上の留意点			
授業は全てロシア語で行うが最初は英単語に似たなじみのある語彙を多用して授業を進めるので、ロシア語で授業を行うことに関して心配はない。			
評価方法			
テキストの暗記とテスト。試験、小テストの結果と出席率、授業態度、提出物等すべての項目を評価に含んだ総合評価形式とする。			

授業計画・内容	
【後期】	
1～10	第6課 《アントノフの家について》／《アンドレイと彼の家族》
11～20	第7課 《私と私の家族》／《偉大なる海、聖なるバイカル湖》
21～35	第8課 《私の同僚が本を集めた方法》／彼らの生活についてもう少し》 《クセニヤさんと彼女の友達》
36～38	会 話 《電話での話し方》／《本屋で》／《キオスクで》
39～40	まとめ テスト
教科書・参考書・資料・参考文献	
ロシア語の新しい習い方 第1部（ズラトウスト）, 書き方練習帳, 実用ロシア語発音教本	

科目名	実用ロシア語文法	担当教員	デルカーチ・フョードル
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第1学年
開講期	後期（20週）		
時間数	後期160時間（週4コマ）総160時間		
授業概要・学習到達目標			
初級文法の規則とロシア語のパターンを習得。語彙を増やし、ロシア語学習の基礎を作る。			
学習上の留意点			
キリル文字の「読み」「書き」を学習初期で完全に習得する。基礎の習得のために復習をすること。補助教材を用い文法強化を図ること。一般的な文法概念と露語特有の文法用語を学ぶ。露和・和露辞書を利用する。			
評価方法			
小テストと期末試験のほかに、提出課題と出席率、授業態度等すべての項目を評価に含んだ総合結果から判定する。			

授業計画・内容	
【後期】	
1～3	前期の復習、テスト
4～30	【数と計算】個数、年数、番号など。1から1000まで数える。月と日付。
31～50	【生格】所有形と関連付け。「…から」。数量と生格。時間。「…のために」。否定生格。文書、会話。テスト。
51～69	【未来形と比較級】「…していく」、「…するようになる」、「…するつもり」。「…より高い、…より強い」。文書、会話。テスト。
70～80	【対格】男性と中性の対格形。対格とよく利用される動詞。曜日、期間、時点と予定時間を言う。テキスト、会話。まとめ、テスト。
教科書・参考書・資料・参考文献	
F・デルカーチ「一歩いっぽ文法・ゆっくり学ぶロシア語」（2024年）	

科目名	ロシア語リスニング	担当教員	スレイメノヴァ・アイーダ
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第1学年
開講期	後期（20週）		
時間数	後期40時間（週1コマ）総40時間		
授業概要・学習到達目標			
教科書の内容に添ったCD教材の聞き取りにより授業を進める。ロシア語の音に体全体で慣れ、理論的にも理解できる事を目標とする。			
評価方法			
期末試験、小テストの結果と出席率、授業態度、提出物等すべての項目を評価に含んだ総合評価形式とする。			

授業計画・内容	
【後期】	
1～3	復習。Т. Эсмантова «Русский язык. 5 Элементов» (A1, урок 4、第4課)；«ч» - «ть»のペア；«чей», «чья», «чье», «чи»の練習；疑問文のイントネーション；«уже» - «ещё не»の聴解練習
4～6	Т. Эсмантова «Русский язык. 5 Элементов» (A1, урок 5、第5課)；«л»の使い方；聴解練習
7～9	Т. Эсмантова «Русский язык. 5 Элементов» (A1, урок 6、第6課)；«б» - «п»のペア；«пе» - «пё» - «пэ»の使い方；テキスト «Офис»（「事務局」）の聴解練習
10～12	Т. Эсмантова «Русский язык. 5 Элементов» (A1, урок 7、第7課)；«в» - «ф»のペア；«в»-«во» の前置詞の使い方；テキスト «Театр»（「劇場」）の聴解練習
13～15	Т. Эсмантова «Русский язык. 5 Элементов» (A1, урок 8、第8課)；«р»の使い方；会話 «Обед»（「昼食」）の聴解練習；(урок 9、第9課)；«ч» - «ш» - «щ»；«р» - «рь»の使い方；
16～17	Т. Эсмантова «Русский язык. 5 Элементов» (A1, урок 9、第9課)；テキスト «Я не трудоголик»（「私は働きバチではない」）の聴解練習；(урок 10、第10課)；«к» - «п» - «х»；«за» - «зя» - «зья»；«ва» - «вя» - «вья»の発音
18～19	Т. Эсмантова «Русский язык. 5 Элементов» (A1, урок 10、第10課)；複数の名詞の使い方 («-ты», «-ки», «-ги»); 会話«Во сколько наш поезд»（「電車は何時？」）の聴解練習
20	復習。
教科書・参考書・資料・参考文献	
F・デルカーチ「今日からロシア語で話せる・読める・書ける」付属CD、プリント随時配布。Т.Эсмантова «Русский язык. 5 Элементов в»（A1：抜粋版）	

科目名	英語	担当教員	ウィリアムズ・マイケル
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第1学年
開講期	後期（20週）		
時間数	後期80時間（週2コマ）総80時間		
授業概要・学習到達目標			
大学生にとって身近な様々な社会問題を取り扱ったレクチャーを聞く。大意の掴み方、細部の聞き取り、ノートテイキングの技術、パブリックスピーチの方法、パブリックスピーチの組み立て等を学び、各課の終わりには実際のテーマについての口頭発表を行う。			
評価方法			
small tests and exams, assignment submissions, participation in class, and attendance			

授業計画・内容	
【後期】	
1-5	LESSON6
6	LESSON 6 TEST
7-11	LESSON 7
12	LESSON 7 TEST
13-17	LESSON 8
18	LESSON 8 TEST
19-23	LESSON 9
24	LESSON 9 TEST
25-29	LESSON 10
30	LESSON 10 TEST
31-35	LESSON 11 ”
36-40	LESSON 12, REVIEW FOR THE FINAL
教科書・参考書・資料・参考文献	
Smart Choice 2, Student Book, 4 th Edition (Oxford University Press), by Ken Wilson	

科目名	ロシア民族学	担当教員	スレイメノヴァ・アイダ
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第1学年
開講期	後期（20週）		
時間数	後期40時間（週1コマ） 総40時間		
授業概要・学習到達目標			
授業ではロシアの民族文化に焦点をあてその文化の独特とヨーロッパ共通性を分析するとともに風土、生活、生産様式、言語、風俗習慣等を知ることを通して、ロシアの文化の基層的な類似性と独自性を明らかにする。			
評価方法			
小テスト、宿題（Google Forms）の結果と出席率、授業中の態度、提出物などの項目を評価に含んだ総合評価形とする。合格点は60点以上である。各期の評価はテスト20%と試験80%の割合とする。			

授業計画・内容	
【後期】	
1～4	伝統的生産：①畑を耕す、種蒔と穀物種、収穫を刈る、脱穀、穀物保存 ②鍛冶屋と農業道具、③家畜を飼う、蜜蜂を飼う、④漁業と狩猟
5～6	運搬具：①馬車、馬櫓、荷車 ②筏、舟、帆船
7～9	商い：①朝市と定期市場 ②店、売店、荒物屋と屑屋 ③貨幣と数量単位
10～13	人生儀礼：①出産と子供保育、②死と葬式と墓 ③結婚の形態 結婚と宗教、④結婚年齢と結婚式
14	農村社会と家族：①家族関係と相続方式、②年齢集団と若者組
16～19	年中行事：①時間と暦、②お正月、③クリスマス祭、火祭りと復活祭 ④多産と豊穰の祭
20	まとめ、復習。
教科書・参考書・資料・参考文献	
各著者の原作からの抜粋（PDF ファイルの電子資料；プレゼンテーション；随時プリント類）	

科目名	ロシア文化史	担当教員	デルカーチ・フョードル
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第1学年
開講期	後期（20週）		
時間数	後期40時間（週1コマ） 総40時間		
授業概要・学習到達目標			
ロシア文化（特にロシアの伝統、宗教、思想と芸術）に関する総理解をも学生に与える他、文化学の基本思想および用語の知識を与える。現代ロシアの国民性、言語、経済状況などの文化的な背景を理解できる。			
評価方法			
中間テスト、期末試験、学年末試験			

授業計画・内容	
【後期】	
1-3	ロシアキリスト教の歴史
4	キエフ・ロシアの建築
5	ウラジミル時代の建築
6	モスクワの建築
7	ロシアのイコン絵画
8	後期中世時代のロシア美術
9-10	ピョートル1世とロシア文化
11	ロシア帝国の都市建築
12	新古典様式
13	19世紀初期のロシア建築
14	19世紀のモスクワ
15	非宗教絵画の始まり
16	イワノフとフェドトフ
17	19世紀後期の文化
18	1860年代の絵画
19-20	19世紀終期の絵画
教科書・参考書・資料・参考文献	
教科書：F・デルカーチ「中世ロシア文化史」、随時配布プリント、スライド、ビデオ教材	

科目名	体育	担当教員	小林 礼
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第1学年
開講期	後期（20週）		
時間数	後期40時間（週1コマ） 総40時間		
授業概要・学習到達目標			
運動することの楽しさや喜びを味わうとともに、生涯にわたる豊かなスポーツライフ「する。見る。支える。知る」を実現する能力を育成するとともに、健康で過ごすための運動の必要性を知り、その解決を図る主体性・協働的な学びを通して、公正・責任・安全・判断・人間性等を育成する。			
評価方法			
出席（50%）授業態度（40%）試験（10%）			

授業計画・内容	
【後期】	
1-2	体づくり運動① 体力を高める運動 縄跳び
3-4	体づくり運動② 体力を高める運動 ウォーキング
5-8	球技：卓球 ネット型①～④
9-11	球技：バスケットボール①～③
12	体づくり運動③ 体力を高める運動 縄跳び
13-15	球技：サッカー①～③ ボールコントロール
16-18	球技：バレーボール①～③
19	まとめ
20	実技試験
教科書・参考書・資料・参考文献	
使用しない	

科目名	ゼミナール 貿易実務	担当教員	渡辺 善行
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第1学年
開講期	後期（8週）		
時間数	後期16時間（全8コマ）総16時間		
授業概要・学習到達目標			
貿易の成り立ち、国際ルール、貿易の手順、契約業務、物流と決済、リスク管理、物と資本の国際取引、ネット取引、貿易と規制、等についての概括を理解する。			
評価方法			
評価方法：出席（50%） アンケート提出（50%）による評価			

授業計画・内容	
【後期】	
1	貿易管理制度、通関と関税
2	函館税関とコンテナヤード見学
3	外国為替と相場
4	為替リスクと代金決済
5	貿易決済手段、銀行の役割
6	貨物の輸送
7	輸送上の危険と海上保険
8	貿易の代金保険、紛争と解決、後期アンケート
教科書・参考書・資料・参考文献	
講師が各回パワーポイントを用意。	

科目名	ゼミナール 外国語としてのロシア語	担当教員	イリイナ・タチヤーナ
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第1学年
開講期	後期（20週）		
時間数	後期40時間（週1コマ）総40時間		
授業概要・学習到達目標			
簡単な映像を見て、理解できるレベルを目指す。またその映像のテーマをもとに習った語彙と文法を使って、質問事項にこたえられるようになる。			
評価方法			
期末試験、筆記テスト、出席率の総合で判断する。			

授業計画・内容	
【後期】	
1	ガイダンス
2～4	ビデオ：一緒に遊びましょう
5	復習、小テスト
6～8	ビデオ：紹介
9	復習、小テスト
10～12	ビデオ：公園で
13	復習、小テスト
14～16	ビデオ：僕の新しいおもちゃ
17	復習、小テスト
18～19	ビデオ：色の世界
20	復習、小テスト まとめ
教科書・参考書・資料・参考文献	
教科書は使用しない。 補助教材は、Ильина Татьяна. Словарь к аудио-курсу «Чудо-мальш» для начинающих. Хакодате, 2017г.	

科目名	日ロ関係史	担当教員	倉田 有佳
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第1学年
開講期	後期（20週）		
時間数	後期40時間（週1コマ） 総40時間		
授業概要・学習到達目標			
函館は、日本とロシアの交流の発祥の地であり、現在もロシアとの交流が活発に行われている。ロシアと日本（北海道）の関係、さらには日ロ（日ソ）関係に目を向け、過去と現在における人間と地域の諸問題を国際社会の多様な歴史的背景において考察できる能力を身に付けることを目標とする。			
評価方法			
出席（30%）授業態度（20%）課題に対する提出物（10%）試験（40%）			

授業計画・内容	
【後期】	
1	江戸時代ロシアに漂着した日本人の歴史
2	江戸時代ロシアに漂着した日本人の漂流先ロシアでのコミュニケーション
3	ニコラエフスクと函館（「亀田丸」の出貿易）
4	ニコラエフスクと日本人居留民
5	20世紀初頭のウラジオストクの歴史
6	20世紀初頭のウラジオストクにおける日本人居留民（映像鑑賞）
7	樺太問題と日露交渉－日露雑居地樺太～樺太・千島交換条約締結へ
8	国境線の変動と樺太アイヌ・千島アイヌ・ロシア人
9	国境線の変動と日本人
10	サハリン島に進出した日露の漁業者たち①
11	サハリン島に進出した日露の漁業者たち②
12	日露戦争とサハリン島
13	日露戦争後のサハリン島
14	弘前のロシア人捕虜収容所（Kh. P. ビリチの場合）
15	日本領樺太時代の日露（ソ）関係（1905～1945年）①
16	日本領樺太時代の日露（ソ）関係（1905～1945年）②
17	樺太からの引揚港となった函館
18	戦後のサハリンを考える（映像鑑賞）
19	復習
20	まとめ
教科書・参考書・資料・参考文献	
授業に合わせて適当な参考図書や論文を配布・説明する。	

科目名	論文作成	担当教員	倉田 有佳
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第1学年
開講期	後期（10週）		
時間数	後期20時間（全10回） 総20時間		
授業概要・学習到達目標			
2年次以降のレポートや論文作成に必要な事項を1年次で身につけておく。 具体的には、①レポートと論文の違いを学ぶ。②レポートや論文作成に必要な文献資料の検索や収集方法、序文・結語の書き方、註のつけ方などを学ぶ。			
評価方法			
出席（30%） レポート内容（70%）			

授業計画・内容	
【後期】	
1	レポートの書き方ガイダンス
2	学年レポートのテーマの検討
3	学年レポートのテーマ決定
4	論文作成のための先行文献・資料検索ガイダンスと実践
5	学年レポート作成
6	学年レポート作成
7	学年レポート作成
8	学年レポートの体裁を整える（表紙・ページ打ち・脚注・参考文献一覧の作成）
9	ザチャット週間が始まる前の週の最終日にレポートをデータで提出
10	学年レポートの見直し・修正。完成。データで提出。
教科書・参考書・資料・参考文献	
ガイドブックおよび引用註の様式を配布する。	